

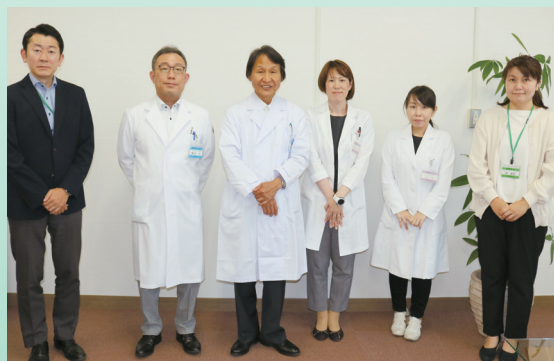
Hiroshima University Hospital News

睡眠・覚醒障害を診断・治療

睡眠医療センター発足1年



ナルコレプシーなど 過眠症を中心に



睡眠医療センター発足1年

2021年春、広島大学病院に「睡眠医療センター」が発足しました。最近では睡眠を巡るさまざまな問題がクローズアップされ、その重要性が認識されるようになってきました。本院の同センターでは特にナルコレプシー(居眠り病)など過眠症を中心とした睡眠・覚醒障害全般の診断・治療にあたっています。

日本睡眠学会「専門医療機関A型」に認定

これまで中国地方では睡眠を扱う医師はいましたが、本格的な専門施設はほほない状態でした。2021年に広島大学大学院医系科学研究科に「睡眠医学」寄附講座が開講し、塩見利明寄附講座教授が招請されました。これを受け、本院に塩見寄附講座教授をセンター長に中国地方の大学病院で初めての睡眠医療センターを設置。7月には広島県で唯一となる日本睡眠学会「専門医療機関A型」に認定されました。現在は熊谷元寄附講座准教授を副センター長として、ナルコレプシーなどの過眠症以外にも睡眠時無呼吸症候群、不眠症、レム睡眠行動障害、むずむず足症候群、概日リズム睡眠・覚醒障害及び起床困難による不登校生など睡眠・覚醒障害全般についての検査・診断・治療を行っています。

日中の異常な眠気 検査で診断



検査室

外来診療は毎週水曜日に実施、毎月8～10人の患者さんを診療所や病院から紹介していただいています。ナルコレプシーは600人に1人いると言われ、昼間でも異常な眠気が襲うもので、中高生から発症が見つかることが多くなっています。通常でも昼間眠くなることはありますが、学校の試験中や重大な会議の最中にも突然眠ってしまうような症状です。なかなか検査が進んでおらず、正確に診断されていないケースもあります。早い段階で見つければ、効果的な治療が期待できます。

有効な薬物療法もあり、生活リズムを整えるなどで改善します。

検査は入院してもらって1泊2日(月～火、水～木)で行っています。反復睡眠潜時検査(MSLT)はナルコレプシーの診断に用いられる眠気の客観的な検査法。まず患者さんは脳波などを測定する装置を付けて、病室で一晩寝てもらいます。夜間の脳波などを調べる「終夜睡眠ポリグラフ検査」です。翌朝から2時間ごとに5回にわたり短時間の睡眠を反復してとってもらいます。日中の眠気の度合いを調べるため、別室で医師や臨床検査技師が脳波計を見ながらチェックします。診断が確定すれば、地域のかかりつけ医とも連携、協力しながら治療を進めていきます。

患者さんの睡眠日誌も診断材料に

診断をより確実に進めるため、患者さんには外来初診の2～4週間前（予約時）から睡眠状況を把握する「睡眠日誌」の記入をお願いしています。毎日の就床時間と離床時間、眠りの状況「ぐっすり眠った」「うとうとしていた」「起きていた（眠っていなかった）」を記入してもらいます。また目覚めた時の気分「爽やか」「普通」「眠い」、日中の眠気「無」「弱」「強」も記録してもらっています。

The image shows a '睡眠日誌' (Sleep Diary) form. It is a grid with columns for dates from 1 to 31. The rows are divided into sections for recording sleep status (e.g., 'ぐっすり眠った', 'うとうとしていた', '起きていた'), wake-up time, and daytime sleepiness levels. A legend at the bottom explains the symbols used for recording.

睡眠日誌

人材育成へセミナーや合同症例検討会



合同症例検討会

センターの役割の一つ、人材育成を進めるため病院内外を対象に月1～2回の睡眠医学セミナーを実施しています。これまであまり学ぶ機会がなかった睡眠医学について「専門性の高い睡眠医療従事者を増やす」目的で全国から専門家を招き、心理学、脳科学、検査分野なども含め睡眠医学の基本を語ってもらっています。若手医師から臨床検査技師、歯科医師まで幅広く参加しています。また院内の合同症例検討会も月2回行っ

ており、それぞれの患者さんの症例を情報共有し、理解を深めています。

睡眠・覚醒障害にはさまざまな症状があり、かかわる病気も多岐に及んでいます。朝起きられないという症状から昼夜逆転リズムの不登校、夢見に関連した異常行動（レム睡眠行動障害）から認知症（レビー小体型）へ進む可能性なども指摘されています。睡眠時無呼吸症候群は、装置を付けて気道を確保するCPAP療法が普及していますが、症状が改善しない場合は別の病気が隠れている可能性もあります。センターでは、さまざまな面を考慮しながら診断・治療に臨んでいます。

塩見利明睡眠医療センター長の話

各診療科と連携し拠点施設の役割果たす

睡眠・覚醒障害の診療では、総合的かつ専門的に検査・診断したうえでの適切な治療が必要です。センターでは各診療科の専門医とも連携を取りながら、今後とも中国地方における睡眠医療の拠点となることを目標にその役割を果たしていきます。

ニュースアップ

災害現場に派遣DMATカーを新車両に更新

広島大学病院は、災害派遣医療チーム「DMAT(ディー・マツト)」の専用車両を更新しました。これまでの車両が老朽化したのと、長距離の派遣にも耐えられるよう疲れにくいように座席などを整備、サブバッテリーも備えました。4月7日には隊員らを対象に説明会があり、装備品などをチェックしました。

DMATカーはワンボックスカーで赤色灯やサイレンを備え、医師や看護師、業務調整員らを乗せ緊急車両として災害現場に駆け付けます。雨をしのぐテントや搬送用のバックボードなども備えています。外装は赤と青を基調に、「広島大学病院」「DMAT」などのロゴや広島大学のシンボル「フェニックス(不死鳥)」をモチーフにしたマークも付けています。

DMATは、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)から活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームです。広島大学病院からも東日本大震災(2011年)、熊本地震(2016年)、西日本豪雨(2018年)などに派遣。現地での救急活動から情報収集、災害拠点病院や行政の支援など幅広く活動しています。



外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)に認証されました

広島大学病院は6月6日、一般財団法人「日本医療教育財団」から、外国人の方が安心・安全な医療サービスを受けられる施設として、「外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP: Japan Medical Services Accreditation for International Patients)」に認められました。新型コロナウイルス感染症の拡大で一時期激減した観光客も徐々に復活しつつあります。コロナ前には外国からのインバウンドも大きな盛り上がりを見せ、外国人患者も増えていました。さらに日本の先進的な医療を求めて来日するケースもあり、対応が求められていました。持続可能な開発目標(SDGs)の一つに「すべての人に健康と福祉を」が掲げられてもいます。これらに対して本院の対応を確認するために認証を受けました。



訪問調査のヒアリング



訪問調査の院内ラウンド

JMIPは、書類審査と訪問調査があり、今年3月の訪問調査では外国人患者への対応状況などを調査員が直接ヒアリングするなどしました。多言語による診療案内や異文化・宗教に配慮した対応など外国人患者の受入れに資する体制が審査されました。認証を受けたことで、医療を必要とするすべての外国人に安心、安全に医療を提供できる体制であることが証明されました。

本院は2019年1月に一般社団法人「Medical Excellence JAPAN(MEJ)」が、渡航受診者受入れに意欲のある病院を推奨する制度「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ(JIH)」にも推奨されています。

栄養管理部
情報

飲物に含まれる糖質に 注意しましょう



担当した管理栄養士

気温が高くなる日も増え、みなさんスポーツ飲料や甘いジュースを飲む機会が増えているのではないのでしょうか。何気なく飲んでいるジュースにも、糖質を多く含むものがあり、摂り過ぎには注意が必要です。

角砂糖1個:3gで換算しています



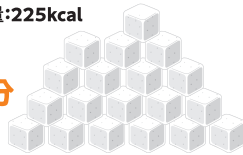
コーラ(500ml)

エネルギー量:225kcal

糖質量:57g

→角砂糖

約19個分



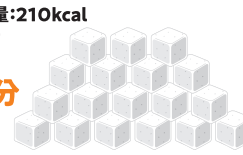
サイダー(500ml)

エネルギー量:210kcal

糖質量:55g

→角砂糖

約18個分



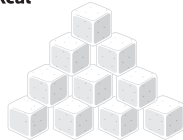
スポーツドリンク(500ml)

エネルギー量:125kcal

糖質量:30g

→角砂糖

約10個分



オレンジジュース(500ml)

エネルギー量:220kcal

糖質量:50g

→角砂糖

約17個分



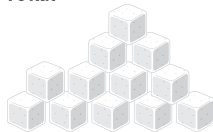
レモンティー(500ml)

エネルギー量:140kcal

糖質量:35g

→角砂糖

約12個分



微糖コーヒー(500ml)

エネルギー量:95kcal

糖質量:15g

→角砂糖

約5個分



★WHO(世界保健機関)では、1日の砂糖摂取量の目安を1日の総摂取エネルギー量の5%未満に抑えることを推奨しています。

※1日総摂取エネルギー量が2000kcalの場合:砂糖25g(角砂糖約8個)まで



これから夏に向けてますます暑くなっていくため、水分補給はこまめに行うことが大切です。水分補給を行うときはジュースではなく、糖質を含まない水やお茶にするように心がけましょう。

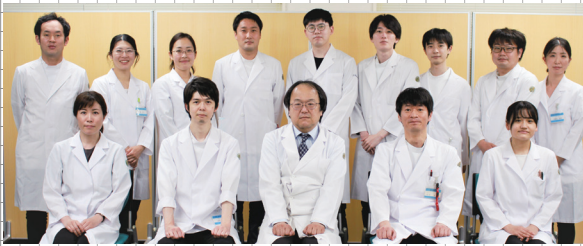
診療科最前線

「歯科保存診療科」

(診療科長・柴秀樹教授)

▶ 診療科の特徴

歯科保存診療科は、歯科治療の中で歯内治療(俗にいう歯の神経の治療)を専門的に担当する診療科です。対象疾患のほとんどは口腔細菌による感染症であることから、無菌的処置の原則に従い、患歯にゴム製のシート「ラバーダム」を装着し、感染経路を遮断した状態で歯髄、根管および根管象牙質から感染細菌を機械的および化学的洗浄によって除去します。また、歯内治療は高難度、繊細および精密な治療であり、実体顕微鏡を用いた治療を行っています。患者が激しい疼痛を訴え歯科受診する原因疾患として、急性化膿性歯髄炎、急性化膿性根尖性歯周炎、急性歯周膿瘍および急性智歯周囲炎があげられます。これらの内、当診療科が担当する疾患は急性化膿性歯髄炎と急性根尖性歯周炎になります。このように当診療科は、細菌を除去することで治療に導くとともに、全身への細菌感染を遮断する診療科といえます。



▶ 患者さんの動向

インターネットの普及に伴い歯内治療(根管治療)についてウェブ検索し、専門的に歯内治療を行っている歯科医院への受診を希望する患者の数が増加しています。歯内療法は国民の関心のある歯科治療になりつつあります。

▶ 得意分野

かかりつけ歯科医院から紹介された難治性根尖性歯周炎(歯内治療を行うも症状が改善しない根尖性歯周炎、閉鎖根管を有する根尖性歯周炎、抜髄後に慢性的な疼痛を伴う根尖性歯周炎など)および希少症例(歯内歯など)に対して歯内治療(外科的歯内療法を含む)を行い、大学病院としての役割を果たしています。

▶ かかりつけ医との連携

当診療科は、2015年から歯内治療を専門的に担当する診療科に変わりました。2015年以降、歯内治療が必要な難治・希少症例などの患者紹介率が増加しています(2014年度紹介率:平均30.8%、2019年度:平均51.6%、2021年度:平均68.0%)。紹介された患者の歯内治療(多くは感染根管治療)が終了した後の歯科治療(クラウンやブリッジなどの装着)は、基本的に紹介元の歯科医院で行うようにしています。

▶ 新しい動き

歯内治療にマイクロスコープ、歯科用CTおよび多様な手用・エンジン用の根管形成・拡大ファイルを用いることができるようになりました。それらの新たな機器・器材を用い、無菌的の原則に基づく歯内療法を実施することによって、歯内治療の成功率を高めることができます。本邦では適応外使用に該当し保険診療に用いることができませんが、諸外国では歯内治療に有用であるとされている材料があります。その有効性を示すために臨床試験を計画しています。



催しのご案内

(2022年7月~9月)

世界肝炎デー企画

市民公開講座

「依存症を予防する
アルコールとの付き合い方」

講師：瀬野川病院KONUMA記念
依存とこころの研究所
加賀谷有行所長

「アルコールと肝疾患について
~肝臓内科の立場より~」

講師：消化器・代謝内科 診療准教授
中原隆志
公開日：7月25日(月)~9月11日(日)

自宅で学べる肝臓病教室

「B型肝炎について」

公開日：9月12日(月)~通年公開
講師：消化器・代謝内科医師 藤野初江

開催方法：肝疾患相談室ホームページからの視聴
(講演動画配信)

HP URL：<http://shounai.hiroshima-u.ac.jp/counseling/>
(「广大 肝臓病教室」で検索)

申込：不要
問い合わせ：肝疾患相談室
☎082-257-1541
(10:00~16:00)



がん治療を支える患者サロン

知りたい!がんと新型コロナウイルスについて

7月21日(木) 13:30~14:30

会場：臨床管理棟2階 2F1会議室/zoom
講師：がん化学療法科医師 山内理海
ZOOM申し込みURL：<https://forms.gle/N4CjpsqN2yaAcScIA>
申込締切:7月18日



患者おしゃべり会

7月26日(火) 13:30~14:30

開催方法：Zoomを用いたオンライン開催
参加費：無料

(接続にかかる通信費等は参加者負担となります)
申込URL：<https://forms.gle/EMu7HQ5z4cJ1Tkjm8>
申込締切:7月21日



問い合わせ：がん相談支援センター ☎082-257-1525